

アイリス Letter

保護者の皆様へ

2023年11月30日発行
第7号
広島女学院中学高等学校



<聖書のことば>

主の家に
わたしたちの神の家の庭に居並ぶ人々よ。
主を賛美せよ、恵み深い主を。
喜ばしい御名をほめ歌え。

詩編 135 編 2・3 節

11月も終わりを迎えました。中高間の桜並木は見事な紅葉となりましたが、最近は毎日のように落ち葉となっています。早朝から技術職員のおふたりがその落ち葉を掃いてくださっています。少しずつ寒さが本格化する毎日ですが、本当に感謝です。今年の待降節は12月3日～24日で、これに合わせてクリスマスのイルミネーションも毎年灯を添えてくれます。ところが、毎年のように続く猛暑の影響で、西校地でいちばん高いヒマラヤスギが枯れてしまい、遂に伐採せざるを得ませんでした。2か所のイルミネーションが1か所（ゲーンズホールの裏にあるメタセコイア）になってしまい、少し寂しい気もしています。

さて、11月の学校行事として文化祭やキリスト教強調週間がありました。文化祭では今年も招待券配布の形で実施し、一般の方も多く来ていただきました。生徒が日ごろの活動の成果を発表し、また大いに楽しむ豊かな時となりました。保護者の皆さまにも多く足を運んで頂いたり、またPTA関連等で共に労する時を与えられました。心より感謝申し上げます。13・14日に実施したキリスト教強調週間の特別プログラムの講師として、シンガーソングライターの沢知恵さんが9年ぶりに来て下さいました。お話はもとより、歌詞のひと言一言が感動的で心の深いところで共鳴する感覚でした。「ありのままの私を愛して」という主題を通し、ありのままの自分を受け入れ、他者とつながることで自分がやりたいと思っていることも豊かになることを教えて頂いたように思います。

いよいよ師走を迎えます。学校では讃美歌コンクールで歌う生徒の讃美の聲が響き、クリスマスが近いことを実感しています。慌しい時期でもありますが、今年1年の歩みを振り返るときとなることでしょうか。とかく足りない部分に目がいてしまいがちですが、ありのままの自分に立ち返り、安心し、喜びを感じるようなときになるようお祈りしています。

(校長)

キリスト教強調週間 (11/13～18)

主題「ありのままの私を愛して」、主題聖句はコリントの信徒への手紙一 13 章 13 節のもと、13 日・14 日は通常の授業に替えて、主題講演と学年ごとの特別プログラムが実施されました。

主題講演講師の沢知恵さんは、1971 年神奈川県に生まれ、日本、韓国、アメリカで育ち、1991 年東京芸術大学音楽学部楽理科在学中に歌手デビューしました。最新作『花はどこへ行った』など 29 枚のアルバムを発表し、第 40 回日本レコード大賞アジア音楽賞を受賞しました。

生後 6 ヶ月の頃より、ハンセン病療養所の方々と関わりを持ち、今日に至るまでハンセン病について「覚える・伝える」ことを志として、コンサートなどを用いた様々な活動を続けています。最近、テレビや新聞でも報道され注目するほど、広く活躍されています。

今回の講演は、『うたに刻まれたハンセン病隔離の歴史―園歌はうたうー』（岩波書店 2022）の著書のもと、二日間にわたって素敵な講演が行われました。「歌」と「お話」が主となる講演はコンサートのような演出で行われ、「涙あり・笑いあり」の心温まる感動の一時を共感することが出来ました。

講演では、国の誤った政策によって療養所に隔離されていたハンセン病を持つ方々の歩みを土台に、「ありのままの自分を愛する」ことの意味や、違いと違いを認めつつ、隣人と関わることの意味について語られました。ハンセン病のみならず、社会における弱い立場に置かれている方々にまで視野を広め、共に生きる喜びを分かち合えるために私たちに求められている事柄、即ち、関わることの在り方について語られました。講演後の質疑応答では、中学生・高校生から出た質問に丁寧に答えていただき、最後は讃美歌 312 番「いつくしみふかき」の大合唱アンコールで講演の幕を下ろしました。

学年別活動では、「隣人と共に生きる」というテーマで、社会のさまざまな分野の講師の先生との出会いや具体的実践活動を通して考える時間を持ちました。

週間中の生徒の委員会企画では、高校は高 1・高 2 企画で、主題「ありのままの私を愛して」に絡めたインタビューを 5 人の先生に実施し、記事にして高校生全員に配布しました。また、高 3 企画では、聖書の登場人物ランキングを行い、高校生全員に投票を呼びかけ、その結果を放送でお届けしました。中学は中 3 企画でキリスト教信仰をもつ先生の「証（体験）」をテーマとした先生方へのインタビューが行われ、中 2 企画では「聖書の〇×クイズ王」が行われました。さらに中学校舎内には「女学院とキリスト教」をテーマとした各クラスの作品の展示会が行われました。

18 日（土）の閉会礼拝では、各学年から 2 名ずつキリスト教強調週間を通しての感想を発表し、それぞれが得たものを分かち合い、女学院の豊かさを再び共感することができました。講演録や代表生徒の感想は年度末発行の冊子『ガリラヤの風』にてご報告します。



最後に、元ハンセン病患者・塔和子さんの詩に、沢さんが曲をつけて歌われた「胸の泉に」を以下に紹介します。

かかわらなければ
この愛しさを知るすべはなかった
この親しさは湧かなかった
この大らかな依存の安らいは得られなかった
この甘い思いや
さびしい思いも知らなかった
人はかかわることからさまざまな思いを知る
子は親とかかわり
親は子とかかわることによって
恋も友情も
かかわることから始まって
かかわったが故に起こる
幸や不幸を
積み重ねて大きくなり
くり返すことで磨かれ
そして人は
人の間で思いを削り 思いをふくらませ
生を綴る
ああ
何億の人がいようと
かかわらなければ路傍の人
私の胸の泉に
枯れ葉いちまいも
落としてはくれない



(宗教教育委員会)

2023 年度文化祭

今年の文化祭のテーマは「Take Off!!」でした。「女学院生全員で勢いよく飛び立ち、駆け抜け、前進していきたい」という想いが込められています。テーマ通り、団結し、一人ひとりの個性が輝く、女学院らしい文化祭となりました。

今年は模擬店も再開し、4年ぶりに本来の文化祭の形に戻すことができました。生徒会にも高校運動部にも模擬店の経験者がおらず、分からないことも多い中、様々な方々の支えがあり、ご来場の皆様楽しんでいただき、無事終えることができました。また、今年は8団体の HR 発表がありました。各クラスの色を出すことができ、さらにクラスの団結が強まったように思います。ステージ発表や体育館発表では、各団体の日頃の練習の成果を十分に発揮でき、女学院の文化祭を更に盛り上げてくれました。校舎内ではたくさんの素晴らしい作品など、日常とは違う生徒の皆さんの様々な表情を見ることができました。また、PTAのみなさま、同窓会の方々、お父さんの会のみなさまにも文化祭のために尽力していただきました。文化祭に携わってくださったすべての方々にこの場をかりて心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



(生徒会顧問)

大学模擬講義・説明会

10月～11月にかけて、以下の5つの大学模擬講義や説明会を実施しました。

- ① 神戸大学説明会（佐藤春実 学長補佐）
- ② 関西学院大学・模擬講義と説明会（白川俊介 教授）
- ③ 津田塾大学・模擬講義と説明会（小館亮之 副学長）
- ④ 同志社大学・高大接続プログラム（波多野賢治 教授）
- ⑤ 医学部説明会（富士学院 村田慎一 学院長）



医学部説明会の様子

例年に比べて参加した生徒が多く、大学での学びにつながるよい機会に恵まれました。

また、①・②・③・⑤は、保護者の希望者の参加もありました。

(進路指導部部長)

保健室だより（7）

いよいよ寒い冬がやってきました。保健室にも喉痛、発熱等で来室する生徒が増えてきました。冬場は寒さや乾燥で身体の免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなります。免疫力をあげて健康に過ごすためには、十分な睡眠、温かくバランスの良い食事、こまめな水分補給、適度な運動が大切です。また身体を冷やさないためにインナーの工夫等をして、温かい服装をされてみてください。手洗い、うがい、咳エチケット、換気などの対策も続けて行うようにしてください。

暖房の使用にあたって

学校で暖房が入り、家庭でもエアコン、ストーブを使用する時季です。暖房使用時の注意点をご確認ください。

○温度・湿度…室内温度は20℃前後、湿度は50%前後が適切とされています。感染症予防のため、乾燥しないように気を付けてみてください。加湿器使用や濡れタオルを干すとよいでしょう。

○部屋の換気…寒くてもこまめに換気しましょう。常時、窓やドアを5～10cm以上、対角線上2ヶ所以上開け、空気の通り道を作ると効果的です。学校では各HR教室に二酸化炭素濃度測定器を設置して、換気の状態を常に確認しています。二酸化炭素濃度は空気の汚れの指標です。学校環境衛生基準では1,500ppm以下が望ましいとされています。



(保健室)

心の健康（7）

12月は1年の終わりの月です。学校では、これから期末テストがあり、生徒も先生も忙しく過ごします。家庭でも今年のまとめの用事が沢山残っていて、年末までにあれもしておこう、これもしておかなくては、と忙しい雰囲気になり、ストレスフルになります。12月は忙しさからくるストレスの解消に特に心がけましょう。

ストレス（STRESS）解消のヒントを頭文字にそってお知らせします。

- S—sport ・運動をしよう
- T—tree ・自然にふれよう
- R—relation ・人間関係を持とう
- E—eating ・食べることを大切にしよう
- S—sleeping ・睡眠を十分にとろう
- S—speaking ・おしゃべり、話し合おう



1日1度はどれかを実行して心の健康に心がけてみてください。そして「自分らしさ、我が家らしさ」を誇りに思うしめくくりの月にしましょう。

(カウンセラー)

中学讃美歌コンクール開催のお知らせ

12月18日(月) 9時45分～12時30分、ゲーンズホールにて中学讃美歌コンクールが開催されます。この時期、生徒たちの一生懸命練習する歌声が学校中に流れ、クリスマスを迎える女学院の風物詩となっています。

なお、ホールの収容人数に限りがあるため、**参観は中3の保護者の方**に限らせていただいております。またお子様連れ、写真・ビデオ撮影、発表中の出入りはご遠慮いただきますようお願いいたします。生徒たちのための大切な行事であることをご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

(宗教教育委員会)



クリスマス献金のお願い

キリスト教の教会では、礼拝の中で神様への感謝のしるしとして献金を捧げます。女学院でも、毎年クリスマス礼拝で神様から与えられた恵みを感謝し、その恵みを“隣人”と分かち合うために「クリスマス献金」を捧げ、被災地を含め、国内外でさまざまな助けを必要としている人々のために働く団体や施設に寄付いたします。2学期末に詳細を記したプリントを配布し、礼拝委員(中学)、宗教委員(高校)が各HRで呼びかけます。戦禍をはじめとする様々な災害などでいっそう厳しい状況に置かれている人々をおぼえ、支え合って共に生きるために、趣旨をご理解の上、保護者の皆様にもご協力いただければ幸いです。

(宗教教育委員会)

女学院クリスマスのご案内

12月20日(水) 18時～19時30分(17時30分開場)、ゲーンズホールにて「女学院クリスマス」を行います。今年度は在校生希望者に加え、保護者の皆様・卒業生・小学生とその保護者は、事前申し込み制(※)でご参加いただける礼拝です。共にクリスマスをお祝いしましょう。

石塚多美子牧師(日本バプテスト同盟瀬戸田バプテスト教会牧師、博愛幼稚園理事長)からクリスマスのメッセージをいただきます。女学院クリスマスは、高校宗教委員(司会・祈祷)、高校放送部(聖書朗読)、高校演劇部(演劇)、高校YWCA部(受付・献金係)、中学YWCA部(ハンドベル)などの生徒とともに礼拝をつくってくれます。

なお、入場は無料ですが、会場で席上献金（NGO・社会福祉団体などへの寄付）のご協力をお願いしています。

終了が下校時間を過ぎることをご了解の上、中学生が参加する場合は、必ず保護者同伴か、お迎えをお願いします。

※申し込みについては、さくら連絡網とHPで詳細をご連絡します。

(宗教教育委員会)

卒業生によるクリスマス・チャリティーコンサートのご案内



本校卒業生主催のチャリティーコンサートが開催されます。音楽大学等に進学した卒業生たちが、クリスマス楽曲をさまざまな楽器で奏でます。

入場無料ですが、チャリティーを目的としていますので、当日席上にて募金にご協力くださいますようお願いいたします。

日 時：12月2日（土） 17時30分開場、18時開演

場 所：ゲーンホール

※駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

(チャリティーコンサート実行委員会)

第37回クリスマスコンサート・メサイアのご案内

バロック音楽の大作曲家 G.F. ヘンデルは音楽家として厳しい苦境にあった時、台本作家ジェネンズから救い主(=メサイア)イエスを描いた台本を提供されます。その内容に触発され、彼は驚くべきエネルギーを注いで名曲・オラトリオ「メサイア」を完成させ、以来名曲として愛される作品となりました。広島女学院ではこの演奏会を長く引き継ぎ、今年も多くの協力者と共に中高からは高校音楽部、オーケストラグループ、保護者・教職員有志が参加します。是非お嬢様の在学中にご一緒にお聴きください。



日 時：12月17日（日）

16時30分開場、17時開演

場 所：ゲーンホール（中高校地）

出 演：独唱 乗松恵美(卒業生)、八川浩子、下岡輝永、平田昌久

合唱 広島女学院メサイア合唱団

オーケストラ 広島女学院メサイアオーケストラ

指揮 星野晴夫（本校の前校長、現在音楽科非常勤講師）

入場料：無料（チャリティー献金を行います。任意）

※託児室は設けておりませんので、小学生未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

※駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

(メサイア実行委員)

生徒の活躍

◇高校美術部

第7回広島県中高生ドローイング大賞展

大賞 2-B K. M.

入選 2-D N. N.

2-E N. H.

◇高校放送部

第47回広島県高等学校総合文化祭放送文化部門・第34回広島県高等学校放送文化コンクール県大会

優秀賞 2-A I. N.

第6回中国地区高校放送コンテスト及び

第48回全国高等学校総合文化祭に出場決定

優良賞 1-E M. S.

第6回中国地区高校放送コンテストに出場決定

◇高校理科部 化学班

- ・第67回広島県科学賞 特選 読売新聞社賞 日本学生科学賞へ出品

研究内容「硝酸銀水溶液に黄銅板を入れて生じる金属樹」

2-D K. A. 2-B J. S. 2-B W. M. 2-E H. N.

1-A N. Y. 1-A Y. R. 1-C Y. K. 1-D M. J.

1-E T. A.

- ・第61回広島県高等学校生徒理科研究発表会（ポスター発表会）

優秀賞 オーラル発表へ進出

研究内容「硝酸銀水溶液に黄銅板を入れて生じる金属樹」

2-D K. A. 1-A N. Y. 1-A Y. R. 1-C Y. K.

1-D M. J.

- ・2023年日本化学会中国四国支部化学研究発表会 高校生・高専生優秀発表賞

研究内容「超臨界二酸化炭素中での天然染料による染色」

2-D K. A.

◇中高マンドリン部

第46回広島県中学・高等学校ギター・マンドリンフェスティバル

優秀賞ならびに朝日新聞社賞





今月の聖句

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。

コリントの信徒への手紙一 13章13節

キリスト教における「信仰」と「希望」とは、イエス・キリストの十字架での死や復活がその根底にあり、こうした「信仰」や「希望」を包むものは「愛」であることを、新約聖書をとおして次の世代へ語りかけています。

イエス・キリストが十字架での死や復活を通して示されたその「愛」とは、この世に生まれた全ての人を指しておりまして、今現在を生きる私たち一人ひとりも、その愛の主体となります。

「信仰」や「希望」よりも最も大いなる愛とは、条件を問わず、状況を語らず、弱さの中でも神様の愛として生きようとするものであることを語っており、こうした愛のもとでこそ、「信仰」や「希望」が受け継がれるのです。愛の実りとして...

(聖書科K.)

12月の行事予定

1	金	
2	土	振替休日(11月3日(金))
3	日	
4	月	
5	火	期末テスト(高3)
6	水	(高1・2)1限8:55~
7	木	(中1・2・3)1限8:55~15分休憩
8	金	1限8:55~15分休憩
9	土	
10	日	高3駿台共通テストプレテスト 1限8:55~15分休憩
11	月	高3自宅学習日 女学院大学キャンパス見学会
12	火	自宅学習日(中1~高2) 高3テスト返却 1限8:55~
13	水	テスト返却(中1~高2) 1限8:55~ [NC]
14	木	高3特別時間割 高3期末テスト素点確認
15	金	特別時間割 1限8:55~ (高)健康教育 期末テスト素点確認(中1~高2)
16	土	
17	日	メサイア
18	月	高3自宅学習日 (中)讚美歌コンクール
19	火	クリスマス礼拝リハーサル
20	水	終業の日 クリスマス礼拝 女学院クリスマス 面接・補習
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	クリスマス
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	特別休暇
30	土	
31	日	

NC・・・ノークラブデー

※行事予定は変更になることがあります

